

学校法人京都中央看護師養成事業団 令和2年度事業計画

■事業計画

私立学校法が改正され、今年度から施行される。新たに「中期的な計画の作成」や「財務情報の公表」などが義務付けられることとなり、高等教育において重要な役割を担う学校法人に対して、これまで以上に安定した経営を行うことや社会からの信頼を得ることが求められている。

他方、専門職大学の設置や大学入学共通テストの導入、18歳人口の減少の本格化によって学生募集を取り巻く環境は複雑化し、先行きが不透明である。入学定員を確保できるかできないかは学校経営に直結する問題ではあるが、こうした状況のなかで将来を見極めて中長期計画を作成し、運用することは非常に難易度が高い。

しかしながら（専）京都中央看護保健大学校を運営する本法人としては、設立趣旨である「京都の地域医療を担う看護職者の育成」の実現に向けて、教育環境だけでなく今後の医療・看護の動向をも視野に入れたビジョンを作成し、その達成のために努力していかなければならない。そのために令和2年度は次の5つの重点項目を掲げて、受験生に選ばれる、魅力ある学校づくりに取り組むこととする。

- 【重点項目】
- 1 安定した学校運営と中期計画の策定
 - 2 財政の安定化と教育環境の整備
 - 3 高校新卒者だけでなく既卒者も含めた学生募集活動の展開
 - 4 社会のニーズをとらえて魅力あるカリキュラムの構築
 - 5 教育理念を意識し、教育目標達成に向けての一貫したカリキュラム運営

1 安定した学校運営と中・長期計画の策定

日本の社会情勢や教育環境が年々変化する中で、これからの医療や看護教育、看護職者の需給状況などを見据えながらの取り組みを積極的かつ柔軟に行うとともに、中期計画を立て、継続的に安定した学校運営を行う必要がある。

現在、中期計画に資するため、学内組織である「学校自己評価委員会」で将来構想について議論を続けているところであり、引き続き検討を重ね、理事会及び評議員会に提案するための案を作成することとする。

2 財政の安定化と教育環境の整備

令和元年10月の消費税率の変更に合わせて令和2年度入学生から授業料を改定し、その増収効果が4年をかけて徐々に期待できる状況にある。

しかし一方で、人件費や実習経費の上昇などによる日常の経費支出が増加しており、また、教育機関として学生に保証しなければならない安心安全な教育環境の整備、教材設備の充実、教育指導内容の向上など、ハード・ソフトの両面でまだまだ取り組むべき課題が残っている。

特に一時的な大きな支出が見込まれる、東館の耐震化やレンガ塀の撤去などの安全対策は喫緊の課題であり、国の補助対象事業となる可能性は高いものの、学校法人の財政状況に大きな影響を及ぼすため、慎重な判断と対応が求められる。

こうした状況を踏まえ、取引金融機関からの資金調達の準備を行うなど財政の安定化に努め、計画的に学習環境の整備を進めていくこととする。

3 高校新卒者だけでなく既卒者も含めた学生募集活動の展開

令和元年度から「専門職大学・専門職短期大学」の設置が認可され、令和2年度には大学入試センター試験に代わって「大学入学共通テスト」が導入される。高校生の進路を取り巻く環境が大きく変化するなか、18歳人口はいよいよ本格的な減少の時期を迎え、学生募集がこれまで以上に厳しくなることが予想される。

こうした状況においては高校生だけでなく、大学生や社会人など高校既卒者にもアプローチしていくことが必要になってくるため、現在実施している社会人を対象としたオープンキャンパスの内容の充実をはじめとして、SNSを利用した広報活動や予備校での進学相談会への参加などを通して、高校既卒者との接点を増やしていくこととする。

また、高校生に対しては高校訪問を行う地域の拡大や、指定校の枠の拡大などを行い、受験生・入学生の確保を目指すこととする。

4 社会のニーズを捉えた魅力あるカリキュラムの構築

令和元年10月15日、厚生労働省から看護基礎教育検討会の報告書が公表され、第5次指定規則改正の全容が見えた。令和4年度から適用される看護師3年課程は、看護基礎教育をめぐる現状及び課題を踏まえて97単位から102単位に充実され、コミュニケーション能力、臨床判断能力、ICT活用能力及び多様な療養の場に対応できる能力の育成を求めている。

一方、保健師教育課程は28単位から31単位に充実され、地域をアセスメントし、健康課題を有する対象への継続的な支援と社会資源の活用等の実践能力、産業保健・学校保健における活動、健康危機管理能力を求め、事例を用いた演習の強化が明記されている。これによって本大学校の看護保健学科(統合カリキュラム)では、128単位の履修が必要となる。

臨地実習を含めて純粋な単位制となり、一貫性・継続性・弾力性を持ち、しかも学校が存在する地域の独自性を顕すカリキュラム編成が課題となっている。ほかにも実習施設の開拓、地域連携教育の開発、ICT環境の整備などカリキュラム改正に向けて解決しなければならない課題は多くあるものの、教職員が一層の発想の転換や工夫、そして目の前の学生を見失うことなく連携し、魅力あるカリキュラムの構築に向けて前進することとする。

5 教育理念を意識し、教育目標達成に向けての一貫したカリキュラム運営

多様化する学生の実態を理解し、効果的にカリキュラムを実施するためには、学生と向き合う限られた時間の中で、妥当な教育内容の抽出と教育方法(学生指導)の工夫が求められる。そのためには、教職員一人一人が資質を高め、チームとして学生に対峙することが必要であり、常に自己研鑽を行い、互いに教育力を高め合う風土を築いていくことが重要である。

同時に学校自己点検・自己評価を行い、定期的なカリキュラム評価をエビデンスとして位置づけ、社会に求められる看護職者を輩出することとする。

■主な学校行事計画

令和2年	4月	6日	第38期生入学式
		7日	ユニフォーム採寸・感染症抗体価検査／新入生
		//	新入生オリエンテーション(～10日)
		8日	始講式／在校生
		10日	老年看護学Ⅰ実習／看護保健学科3年次生(～27日)
		13日	老年看護学Ⅰ実習／看護学科3年次生(～28日)
		16日	防災訓練／両学科1年次生
		30日	領域別看護学実習／看護学科4年次生(～7月22日)
		//	実習指導者会議

5月	7日	領域別看護学実習／看護保健学科4年次生(～6月23日)
	11日	公衆衛生看護学Ⅱ実習／看護保健学科4年次生(～6月25日)
	14日	健康診断／両学科1・2年次生
	27日	春期レクリエーション祭・新入生歓迎会
	未定	学校法人京都中央看護師養成事業団 第28回理事会・第28回評議員会
	〃	薬物に関する講習／両学科1年次生
6月	6日	第1回オープンキャンパス
	9日	基礎看護学実習(前半)／看護学科1年次生(～10日)
	11日	講師会
	15日	前期試験①／両学科1・2年次生(～16日)
	20日	第2回オープンキャンパス
	22日	小児看護学Ⅰ実習／看護学科2年次生(～29日)
	29日	小児看護学Ⅰ実習／看護保健学科2年次生(～7月3日)
	〃	統合実習／看護保健学科4年次生(～7月16日)
	未定	特別講演
7月	7日	前期試験／両学科3年次生(～10日)
	18日	第3回オープンキャンパス
	〃	学生夏期休業(～8月14日)
8月	1日	第4回オープンキャンパス
	13日	領域別看護学実習／看護学科3年次生(～9月14日)
	15日	第5回オープンキャンパス
	17日	基礎看護学Ⅱ実習／看護保健学科2年次生(～9月2日)
	〃	領域別看護学実習／看護保健学科3年次生(～12月17日)
	18日	基礎看護学Ⅱ実習／看護学科2年次生(～9月10日)
	26日	公衆衛生看護学実習／看護保健学科4年次生(～10月23日)
	27日	解剖見学／両学科1年次生
9月	6日	第6回オープンキャンパス
	〃	統合実習／看護学科4年次生(～10月9日)
	19日	第7回オープンキャンパス
	25日	前期試験②／看護学科1・2年次生(～30日)
	〃	前期試験②／看護保健学科1・2年次生(～30日、10月3日)
10月	8日	領域別看護学実習／看護学科3年次生(～12月25日)
	17日	第8回オープンキャンパス
	29日	関西看護学生看護研究大会
	30日	看護研究発表会／看護保健学科4年次生(～31日)
	31日	看護研究発表会／看護学科4年次生
	未定	学校法人京都中央看護師養成事業団 第29回理事会・第29回評議員会
11月	6日	学校祭
	17日	宣誓の日／看護学科1年次生
	26日	宣誓の日／看護保健学科1年次生
	未定	指定校推薦入学試験
	〃	公募推薦入学試験前期
	〃	保護者会
12月	10日	中期試験／看護学科4年次生(～13日)
	15日	後期試験／看護保健学科4年次生(～17日)

	25日	学生冬期休業(~1月7日)
	未定	公募推薦入学試験後期
1月	14日	後期試験①/両学科1・2年次生(~15日)
	25日	基礎看護学実習(後半)/看護学科1年次生(~29日)
	//	基礎看護学 I -1)・2)実習/看護保健学科1年次生(~29日)
	未定	一般入学試験前期
2月	1日	成人看護学 I 実習/看護学科2年次生(9日~26日)
	8日	開校記念日
	9日	成人看護学 I 実習/看護学科2年次生(~17日)
	未定	保健師国家試験
	//	看護師国家試験
	//	一般入学試験後期
3月	1日	後期試験②/両学科1・2・3年次生(~3月6日)
	15日	卒業式
	19日	防災訓練
	20日	学生春季休業(~4月7日)
	未定	学校法人京都中央看護師養成事業団 第30回理事会・第30回評議員会
	//	卒業講演
	//	卒業生を送る会
	//	健康診断/両学科2・3年次生